

総合防災訓練の実施について

平成18年8月29日

東日本旅客鉄道株式会社

- JR東日本では、総合防災訓練を9月1日の「防災の日」に実施します。
- 今回の防災訓練は震度6強の大地震が発生したとの想定で、救助救命活動に関する訓練を本社、支社、現業機関が連携し実施します。
- 訓練は以下の内容を中心に実施します。
 - ・ 本社及び各支社等における対策本部運営訓練
 - ・ 各地区における実働訓練（救助救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）
 - ・ 社員及びその家族の安否確認訓練
- また、政府や自治体等と連携して行なう訓練にも参加します。

訓練は以下の要領で行います。

1 日時

平成18年9月1日（金） 7時00分～12時30分（予定）

2 訓練の想定

東京圏については、本社対策本部の運営訓練を「7：00に東京直下を震源とする震度6強の地震が発生し、駅舎の崩壊、列車の脱線等の被害により、多数の死傷者が発生した。」との想定で訓練を行う。

各駅においては、「7：00 震度6強の直下型地震が発生し、列車脱線、駅舎倒壊、火災等の被害が発生」との想定で地震発生直後の初動対応に重点を置いた訓練を行う。

地方支社においては、各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行う。

3 主な訓練内容

① 本社対策本部の設置・運営訓練

本社対策本部運営訓練は以下の流れで実施する。

- ・ 発災直後は、まず高崎支社ビルに本社対策本部を設置し運営する。
- ・ 本社対策本部要員は本社対策本部が設置される東京支社ビル（田端）に非常参集する。参集後、対策本部の情報機器の設営を行う。
- ・ 設営完了後、高崎支社ビルから東京支社ビルに本社対策本部を引継ぎ、運営訓練を行う。
- ・ 運営訓練は、情報連絡拠点と本社対策本部で衛星回線を含めた災害時の専用回線を使用し、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行う。またヘリコプターにより被災状況を調査し本社対策本部への連絡も行なう。

② 安否確認訓練

「災害伝言ダイヤル171」等の活用により、連絡のとれない社員と職場との安否の確認や、社員と家族との安否確認訓練を行なう。安否確認訓練については、全社員を対象に実施する。

③ 非常参集訓練

本社、支社、現業機関の社員が勤務箇所から最寄り駅など予め指定された箇所へ徒歩等で非常参集を行う。

④ 救助救命等の実働訓練

非常参集した社員を被災現場に派遣し、お客さまの避難誘導、救助救命、初期消火等の実働訓練を行なう。訓練にあたっては、警察、消防等の関係部外機関や協力会社と連携し行う。

⑤ 自衛隊ヘリコプターを活用した医療チームの輸送訓練

自衛隊の協力のもと、ヘリコプターによる医療チーム（直営医療機関の医師と看護師）の輸送訓練を行う。

4 主な訓練の実施箇所（別紙）

① 災害対策本部の運営訓練

・東京支社ビルに設置される本社対策本部は9時30分～12時30分頃で実施致します

② 駅における実働訓練

・各駅によって訓練時間が違います。

平成18年度総合防災訓練の主な実施箇所

支社	実施場所	日時	参加数	訓練内容
東京	秋葉原・品川・赤羽・新宿・尾久・北千住・松戸の各駅 (他に管内全域)	9/1(金) 10時00分 (松戸駅は 9/9(土) 9時30分)	約820名	「通勤時間帯の午前7時に震度6クラスの直下型地震が発生した」との想定で、現地対策本部設置訓練、初期消火・通報・避難誘導訓練、列車運行情報提供訓練等を行うほか、AED活用訓練、ターミナル駅での他鉄道との協力による避難誘導訓練等を行う。また、品川及び尾久の両駅では、駅間停車列車からのお客さまの救済訓練を計画しており、尾久駅の訓練を社長が視察する予定。
横浜	横浜支社管内 全般	9/1(金) 7:00~12:00	約350人	「東京直下(震度6強)の地震発生」との想定で、自律的な非常参集訓練(支社・地区)、情報伝達機器の設置訓練、対策本部・情報連絡拠点の設置運営訓練、安否確認訓練(伝言ダイヤル171、iモード災害伝言板)、被災箇所確認訓練、衛星回線を活用した情報伝達訓練及び広域避難場所の確認訓練を実施する。
八王子	八王子支社管内 全般	9/1(金) 7:00~13:00	約400人	「東京都心部で震度6強の地震が発生した」との想定で、社員・家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置訓練及び非常食料搬送訓練、駅及びその他の職場の初動対応訓練を実施する。
大宮	宇都宮駅 (他に管内各駅 及び出先機関)	9/1(金) 10:00~12:00	約160人	「震度6強の地震が発生した」との想定で、構内店舗火災対応、倒壊物による受傷者の救出並びに応急救護、到着直前停止の電車からのお客さまの避難誘導等の訓練を実施するほか、社員及び社員家族の安否確認訓練を行う。
高崎	高崎支社管内 高崎支社対策室	9/1(金) 7:00~12:00	約150人	東京都心部を震源とする震度6強の地震が発生、発災直後の通信輻輳等により東京(田端)指令との連絡ができないため、高崎支社内に本社対策本部を設置、21情報拠点との情報伝達訓練を実施する。また、田端指令への引継ぎ後は、支社対策本部の設置運営訓練を行い、ヘリコプターを利用した情報収集訓練も実施する。各駅、区所においても、初動体制の訓練を実施する。
水戸	水戸支社管内 全般	9/1(金) 7:00~12:00	約250人	「茨城県鹿嶋灘沖を震源とする震度6強の地震発生により、列車の一部が脱線し、お客さまが負傷した」との想定で、社員の派遣を含めた、お客さまの救助救命、避難誘導等の訓練をメインに土浦、水戸、水郡、いわき地区で実施する。
千葉	千葉支社管内 全般	9/1(金) 7:00~12:30	約200人 (錦糸町駅訓練 者含む)	「東京都心部を中心に震度6強の地震が発生した」との想定で、安否確認訓練、非常参集訓練、情報伝達収集訓練、救助派遣訓練、非常食運搬訓練、設備点検訓練、津波警報発令時の対応訓練を行う。また、駅における訓練として、錦糸町駅構内の電留線において、お客さまの降車誘導訓練、指定避難場所までの避難誘導訓練を消防署と合同で行うなど、各駅でも独自の訓練を行う。
仙台	仙台支社館内 全般	8/30(木)~ 9/10(日)	期間中 延べ約4,000人	「仙台支社管内で震度6弱以上の地震が発生した」との想定で、昨年8月16日に発生した宮城県沖地震を踏まえ、社員・家族の安否確認訓練、駅における初動対応訓練を各地区で実施する。また、お客さま救済訓練については9/27夜間の「新幹線異常時現車訓練」で実施する。その他「大規模地震発生時の対応マニュアル(仙台支社版)」をもとに、職場のマニュアルを再確認し、必要な修正を行なったうえで社員への周知を図る(10月末まで)。
盛岡	盛岡駅	9/1(金) 7:00~12:00	約150人	「三陸沖で震度6強の地震が発生し、駅舎の一部倒壊等の被害が発生した」との想定で、駅舎で負傷されたお客さまの安全な場所までの救助救命訓練及びエレベーターに閉じ込められた社員の救助訓練等を実施する。
秋田	男鹿駅	9/1(金) 7:00~12:00	約100人	「秋田県沖を震源とする震度6強の地震により、列車が脱線、多数の負傷者が発生した」との想定で、警察・消防機関と連携したお客さまの救助救命訓練、避難誘導訓練、脱線復旧訓練、支社対策本部・現地対策本部設置運営訓練及び情報伝達訓練を実施する。
新潟	新潟支社管内 4拠点地区	9/1(金) 7:00~12:00	約200人	「新潟支社管内全域で震度6強の地震が発生した」との想定で、4拠点地区で現地対策本部を設置し、非常参集訓練と安否報告訓練を行うほか、駅におけるお客さま避難誘導訓練、駅間で停車した列車からのお客さま救済訓練を実施する。また、支社災害対策本部と4拠点地区間で衛星携帯電話等を使用した情報伝達訓練を行う。
長野	篠ノ井駅・明科駅・ 豊科駅・下諏訪駅・ 飯山駅・小海駅	9/1(金) 7:00~11:00	非常参集・情報 伝達訓練及び 各実動訓練 約200人 安否確認訓練 約1,800人	「長野支社管内各地で震度6強の地震が発生した」との想定で、乗務中の運転士・車掌を除く全社員・家族の安否確認を実施するとともに、非常参集により支社対策本部を設置し、支社対策本部と6情報連絡拠点及び6被災想定駅との情報伝達訓練を実施する。また、救助・救援派遣に指定された社員が各被災駅に出勤し、お客さまの避難誘導、救助・応急救護、初期消火訓練等を実施する。